みやぎ県議会だより

令和元年
11月定例会特集
第132号

編集・発行　宮城県議会企画広報委員会
TEL 022(211)3592
〒980-8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号

台風19号被害

再建に向け 独自支援を

震災の教訓を生かして

第370回宮城県議会（11月定例会）は11月25日から12月17日まで23日間の会期で開かれた。台風19号の豪雨被害の復旧費約841億4000万円を含む令和元年度一般会計補正予算や、水道3事業の運営を一体として民間に委ねる「みやぎ型管理運営方式」の導入を可能とする条例改正など58議案を原案通り可決した。一般質問では、台風19号被害への支援策や水道「みやぎ方式」、観光振興などで活発な議論が交わされた。また、改選後初の議会となり、議長に石川光次郎議員、副議長に齋藤正美議員を選出した。

一般質問に登壇した16議員のうち、15議員が台風19号の豪雨被害に関連する被災者支援や、防災・減災対策などの質疑を行った。

その中で、県独自の被災者支援を求める意見に議論が集中した。被災した住宅の再建に関し、議員は、床上1㍍未満の浸水などは半壊扱いとなり、原則、国の被災者生活再建支援制度の対象外となることを指摘し、「床下の泥出しや断熱材の交換など多額の費用を要するため、支援の必要性がある」と訴えた。

知事は「財源を確保するためには、国の対応が不可欠。支援制度の対象を半壊まで拡充するよう国に要望していく」と答えた。

農業関連の支援策で、議員は「刈り取った後の米は水没しても農業共済の対象にはならず、大規模農家ほど困窮している。救済策を示してほしい」と求めた。

知事は「来期の営農が再開できるよう、被災した農地の復旧や農業施設・機械の再取得などを含めて総合的な経営支援策を講じる」と強調。具体的には保管米が浸水被害を受けた農家の営農再開経費の4割を補助することを明らかにした。国の制度と合わせれば最大9割の補助となる見込み。

中小企業支援のグループ補助金に関して、議員は「補助金の要件や、グループを作れない場合の支援策はあるのか」とただした。知事は「東日本大震災の被災者支援との整合性を図りながら、国の支援策を補完する県独自の補助制度を準備したい」と答えた。

震災を教訓とした自然災害への対策を求めた議員の提言に、知事は「多発化、多様化する自然災害への対策には、事例を蓄積しながら、しっかりと検討していく」と述べた。

宿泊税の導入
県と仙台市の二重課税懸念

観光分野では、県が導入を検討する「宿泊税」に関し、質疑があった。仙台市でも独自に課税をする動きがあり、「二重課税」を懸念する議員は「県民や宿泊者、徴税事務の負担を考えると、仙台市との協議が必要」と強調。知事は「仙台市が導入の意思を表明すれば協議を検討する」と答弁した。

「どのような事業に活用するのか」と宿泊税を導入した場合の使途についての議員の質問に、知事は「県観光振興財源検討会議が、宮城らしい体験・滞在型の観光資源の整備や、満足度の高い旅行環境などの視点で議論を進めている。県としても推移を見守りたい」と答えた。

仙台空港（名取、岩沼両市）の24時間化に関し、議員は「住民は深夜の騒音に不安を抱いている。住民の生活環境維持と地域振興を図るための独自対策が必要になる」と提言した。知事は「空港運営権者が判断することになる」と前置きした上で、「新たな着眼点として有用な意見だと受け止めた。県としても運営会社側と相談し、検討したい」と語った。

県美術館移転
必要性を問う

仙台市青葉区の県美術館と東京エレクトロンホール宮城（宮城県民会館）を、宮城野区の仙台医療センター跡地に移転・集約する県の方針を巡っては、活発な議論が展開された。

特に、現地改修案が示されていた美術館の移転に関し、議員は「県の発表は突然だった。どういう理由で移転を決めたのか」とただした。

知事は「開館から38年が経過する美術館は大規模改修をしたとしても、将来的な建て替えは避けられない」と説明。移転先の選定に関しては、「土地利用の制約が少ない仙台医療センター跡地に移転・新築する方が、県民にとってメリットが大きいと判断した」と述べた。

「都市計画を所管する仙台市との事前の協議状況はどうなっているのか」との議員の質問に、知事は「仙台市とは、県の部局長レベルで意見交換をしてきた」と話し、事務レベルでは協議を進めてきたことを説明した。

水道「みやぎ方式」

住民への説明不足指摘

知事「今後も丁寧に対応」

11月定例会に条例改正案が提出された「みやぎ型管理運営方式」に関しては、導入の是非を巡っての論戦が繰り広げられた。

住民や自治体への情報提供の在り方に関し、議員は「県民の理解はいまだ得られていない。議論は拙速であり、全受水市町村で住民説明会を行うべきだ」と提案し、議案を継続審議とするよう求めた。知事は「県民負担の軽減促進や、市町村の水道事業の経営基盤強化につながる。今後も丁寧に説明して対応する」と理解を求めた。

「運営を委ねた企業の経営が破綻した場合のリスクにどう対応するのか」「導入することで、本当に20億円を超えるコストダウンにつながるのか」などの議員の質問もあった。公営企業管理者は「運営権者の経営状況は3段階のモニタリング態勢で継続的に確認する。また、コストは確実に削減できると考えている」と答弁した。

「官民が連携することで、長期的な視点で水道料金の上昇を抑えることができる有意義な取り組みだ」と、「みやぎ方式」の導入の意義を強調する議員に対して、知事は「民間事業者の裁量が拡大することで、新技術の開発や導入などが期待できる。全国の水道事業の新しいモデルとしたい」と語った。

質問者と主な質問項目

○一般質問（16人）

▽仁田和廣（自民）河川改修について、水産業振興対策について、観光対策及びバリアフリー対策について▽渡辺勝幸（自民）「復興・創生期間」後における復興について、近年相次いで発生している短時間集中豪雨対策について、新たな県民会館・県美術館の集約案について、ICT等教育環境の充実について▽石田一也（県民の声）台風19号及び10月25日の低気圧による豪雨災害について、宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について、宮城県と仙台市の二重行政、二重課税について、宮城県の考える未来へつながるSDGs（持続可能な開発目標）について▽守屋守武（自民）台風第19号被害に関する対応と今後の防災対策について、のり面工事の整備に関して、磯焼け対策について、少子化におけるスポーツ環境の対策について、スポーツコンベンションの効果と対策について

▽金田もとる（共産）台風19号及び10月25日低気圧に係る被害状況への対応と被災者支援対策について、宮城県の防災対策、河川行政について、台風19号による放射能汚染除去土壌、廃棄物の流出について、みやぎ型管理運営方式の実施方針に係る条例改正について、女川原発2号機の再稼働について▽瀬戸健治郎（自民）一級河川北上川水系迫川圏域の整備と災害対策、台風19号による被害救済策、国連「家族農業の10年」の宮城県としての施策について▽横山のぼる（公明）台風19号等の大規模災害に係る復旧・復興対策について、宮城県上工下水一体官民連携運営事業について、聴覚支援施策について、災害ケースマネジメントについて、秋保の観光振興について、交通事故防止対策について▽わたなべ拓（自民）台風19号・集中豪雨対策について、仙台医療センター跡地への美術館・県民会館の移転について、教育施策について

▽佐藤仁一（県民の声）台風19号関連災害への初期対応と対策について、人口減少社会での地方自治体経営について、水道事業のみやぎ型管理運営方式について▽遠藤隼人（自民）台風19号による豪雨被害への対応について、入札契約制度について、水産加工業の現状と今後について、安心、安全な県民生活について▽菅間進（無所属の会）原発に係る廃棄物保管等の現状について、上工下水コンセッション化について、防災・危機管理等、県政の諸課題について▽村上久仁（自民）大雨災害に対する宮城県の対応と今後の対策について、仙台空港と周辺地域の利活用について、個人情報保護のあり方について▽菊地恵一（自民）台風19号被害への復旧対応と、更なる県土の強靭化への取り組みについて、ものづくり産業における若手人材育成と技能五輪全国大会開催へのアプローチについて、「みやぎ型管理運営方式」の取り組み状況とその意義について、宮城県観光財源検討会議での検討状況、県内観光関係者の動向について▽ゆさみゆき（県民の声）村井知事の政治姿勢と県政運営について▽村上智行（自民）農業振興について、仙台空港周辺活性化・運用時間延長等について、宿泊税導入について、宮城県上工下水一体官民連携運営事業（みやぎ型管理運営方式）について、警察署整備計画について▽高橋啓（緑風会）台風19号による災害状況とその対応について、今後の河川整備計画について、県次期総合計画について、地球温暖化対策への取り組みについて、上工下水一体官民連携運営事業について

＜会派名略称＞
自由民主党・県民会議＝（自民）、みやぎ県民の声＝（県民の声）、日本共産党宮城県会議員団＝（共産）、公明党県議団＝（公明）、社民党県議団＝（社民）、無所属の会＝（無所属の会）、21世紀クラブ＝（21世紀ク）、緑風会＝（緑風会）

議決した議案等

発　議＜1件＞

○県議会議員の議員報酬等に関する条例の一部を改正する条例

意見書＜1件＞

○令和元年台風第19号等に係る災害対策に対する支援を求める意見書

可決・承認・同意した知事提出議案＜60件＞

○令和元年度宮城県一般会計補正予算
○公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例
○専決処分の承認を求めることについて（令和元年度宮城県一般会計補正予算）　ほか

諮　問＜1件＞

○退職手当支給制限処分に係る審査請求の諮問について　〔答申〕棄却すべき

採択した請願＜3件＞

○一級河川南沢川・北沢川等の整備や県道北上津山線の整備に関することについて　ほか

不採択となった請願＜1件＞

○県営上工下水道をコンセッション方式で民営化する「公営企業の設置等に関する条例の一部を改正する条例」案は第370回宮城県議会では継続審議とし、計画の精査と県民・市町村に対する説明責任を果たすよう求めることについて

※議案等に対する各議員の表決状況については、県議会ホームページに掲載しているほか、議会図書室で閲覧できます。

11月定例会の本会議

委員会構成

議会運営委員会　定数12人

◎外崎浩子（自民）　○守屋守武（自民）　太田稔郎（県民の声）
佐々木功悦（県民の声）　天下みゆき（共産）　横山のぼる（公明）
菅間　進（無所属の会）　佐々木賢司（自民）　菊地恵一（自民）
中山耕一（自民）　畠山和純（自民）　中沢幸男（自民）

総務企画委員会　定数10人

◎村上智行（自民）　○庄田圭佑（自民）　坂下　賢（県民の声）
小畑きみ子（県民の声）　天下みゆき（共産）　高橋　啓（緑風会）
八島利美（自民）　菊地恵一（自民）　佐々木喜藏（自民）
畠山和純（自民）

環境福祉委員会　定数10人

◎渡辺勝幸（自民）　○遠藤伸幸（公明）　佐々木功悦（県民の声）
金田もとる（共産）　熊谷義彦（社民）　吉川寛康（21世紀ク）
渡邉重益（自民）　髙橋伸二（自民）　中山耕一（自民）
安藤俊威（自民）

経済商工観光委員会　定数10人

◎遠藤隼人（自民）　○村上久仁（自民）　坂下やすこ（県民の声）
枡　和也（県民の声）　三浦一敏（共産）　庄子賢一（公明）
わたなべ拓（自民）　櫻井正人（自民）　外崎浩子（自民）
藤倉知格（自民）

農林水産委員会　定数９人

◎横山隆光（自民）　○守屋守武（自民）　太田稔郎（県民の声）
石田一也（県民の声）　渡辺忠悦（無所属の会）　伊藤和博（公明）
伊藤吉浩（自民）　石川光次郎（自民）　仁田和廣（自民）

建設企業委員会　定数10人

◎深谷晃祐（自民）　○髙橋宗也（自民）　ゆさみゆき（県民の声）
佐藤仁一（県民の声）　福島かずえ（共産）　岸田清実（社民）
横山のぼる（公明）　柏　佑賢（自民）　中島源陽（自民）
齋藤正美（自民）

文教警察委員会　定数10人

◎佐々木賢司（自民）　○佐々木幸士（自民）　境　恒春（県民の声）
三浦ななみ（県民の声）　大内真理（共産）　菅間　進（無所属の会）
福井崇正（自民）　瀬戸健治郎（自民）　本木忠一（自民）
中沢幸男（自民）

予算特別委員会　議員全員

◎仁田和廣（自民）　○坂下やすこ（県民の声）
12月11日に委員10人による総括質疑を行い、その後、各分科会での審査を経て、令和元年度宮城県一般会計補正予算等を可決した。
●総括質疑者　庄田圭佑、横山隆光、佐々木賢司（自民）
太田稔郎（県民の声）福島かずえ（共産）庄子賢一（公明）
熊谷義彦（社民）渡辺忠悦（無所属の会）吉川寛康（21世紀ク）
高橋啓（緑風会）

大震災復興調査特別委員会　定数15人

◎佐々木喜藏（自民）　○ゆさみゆき（県民の声）　熊谷義彦（社民）
菅間　進（無所属の会）　金田もとる（共産）　横山のぼる（公明）
三浦ななみ（県民の声）　柏　佑賢（自民）　渡邉重益（自民）
櫻井正人（自民）　髙橋宗也（自民）　守屋守武（自民）
村上智行（自民）　仁田和廣（自民）　畠山和純（自民）

自然災害対策調査特別委員会　定数10人

◎藤倉知格（自民）　○佐々木功悦（県民の声）　枡　和也（県民の声）
福島かずえ（共産）　吉川寛康（21世紀ク）　庄子賢一（公明）
八島利美（自民）　外崎浩子（自民）　菊地恵一（自民）
中山耕一（自民）

鳥獣被害対策調査特別委員会　定数10人

◎境　恒春（県民の声）　○庄田圭佑（自民）　三浦一敏（共産）
佐藤仁一（県民の声）　髙橋　啓（緑風会）　遠藤伸幸（公明）
瀬戸健治郎（自民）　遠藤隼人（自民）　髙橋伸二（自民）
中島源陽（自民）

不登校・ひきこもり対策調査特別委員会　定数10人

◎岸田清実（社民）　○大内真理（共産）　坂下やすこ（県民の声）
小畑きみ子（県民の声）　渡辺勝幸（自民）　深谷晃祐（自民）
福井崇正（自民）　わたなべ拓（自民）　伊藤吉浩（自民）
佐々木賢司（自民）

地域再生対策調査特別委員会　定数10人

◎渡辺忠悦（無所属の会）　○村上久仁（自民）　坂下　賢（県民の声）
石田一也（県民の声）　天下みゆき（共産）　伊藤和博（公明）
横山隆光（自民）　佐々木幸士（自民）　安藤俊威（自民）
中沢幸男（自民）

企画広報委員会

◎庄田圭佑（自民）　○髙橋　啓（緑風会）　三浦ななみ（県民の声）
金田もとる（共産）　熊谷義彦（社民）　渡辺忠悦（無所属の会）
遠藤伸幸（公明）　瀬戸健治郎（自民）

11月定例会では、議会運営委員会や常任委員会等の委員が選任された。また、予算特別委員会のほか、大震災復興調査特別委員会など5つの調査特別委員会が設置された。

※◎委員長　○副委員長

正副議長就任あいさつ

石川光次郎議長

齋藤正美副議長

11月定例会開会日に選出された石川光次郎議長と齋藤正美副議長が、閉会日となる12月17日の記者会見の場で就任あいさつを行った。会見の初めに、石川議長と齋藤副議長は台風第19号など相次ぐ災害で亡くなられた方々のご冥福と、被災された方々へのお見舞いの言葉を述べた。

石川議長は「東日本大震災から８年９カ月が経過し、創造的復興の総仕上げに向けて着実に復興が進められているが、沿岸市町など被災地域ではいまだ多くの課題が残されており、新たな課題も生じている」と指摘。「国の『復興の基本方針』が見直されることとされているが、今後も国に復興支援の継続を要望していくとともに、喫緊の課題に的確に対応し、復興の完遂に向けた取り組みを加速させていく上で、県議会の果たす役割は非常に大きい。全力で頑張って参りたい」と語った。

齋藤副議長は「東日本大震災からの創造的復興に向け、さまざまな課題が山積している中、『車の両輪』と言われる二元代表制の一翼を担う県議会が果たす役割は非常に重要である。議会改革を引き続き着実に推進し、議長を支え、副議長としての責務を全うしたい」と語った。

県議会からのお知らせ

●ラウンジコンサート
県議会では、年４回の定例会開会日に「ラウンジコンサート」を開催しています。入場は自由ですので、ぜひご来場ください。
◇次回コンサートの開催予定
・日時／２月12日（水）午後０時15分～45分
・場所／県議会庁舎１階ラウンジ
・出演／林　竜也（ギター演奏）
◇コンサート出演者募集
・時期／６月、９月
・条件／無料出演（ピアノ以外の楽器は持ち込み）演奏ジャンル、プロ、アマチュアなど資格は問いません。
・締切／１月31日（金）（必着）
・詳細はホームページをご覧ください。

●傍聴のご案内
本会議、各委員会は手続きの上、傍聴できます。
▷お問い合わせ先
宮城県議会事務局総務課　TEL022(211)3571

●ホームページのご案内
定例会の日程や会議録、議会中継等をご覧いただけます。
宮城県議会　検索

●議会中継のご案内
スマートフォンやタブレット端末で議会中継をご覧いただけます。アクセスはこちらから

「みやぎ県議会だより」へのご意見・ご感想をお寄せください
宮城県議会事務局政務調査課
〒980－8570　仙台市青葉区本町３丁目８番１号
TEL022(211)3592　FAX022(211)3598
Ｅメール　gtyosas@pref.miyagi.lg.jp